

2017 年度事業報告書

自 2017年4月 1日

至 2018年3月31日

1 組織活動

(1) 定時総会

2017 年 6 月 5 日（月）に開催し、「2016 年度事業報告」「2017 年度事業計画及び収支予算」を報告し、続いて「2016 年度決算の承認」、「理事の辞任に伴う後任者の選任」及び「任期満了に伴う監事の選任」をそれぞれ審議可決した。

なお、総会後は 2 件の講演（㈱三越伊勢丹 百貨店事業本部 三越恵比寿店 店長 小宮仁奈子氏「ビューティアポセカリーから見続けた日本のナチュラルコスメ市場」、㈱矢野経済研究所 FSR ユニット ライフスタイル&ビューティーグループ 主任研究員 浅井潤司氏「アジア新興国市場の可能性～市場開拓のためのキーワード～」）、そして会員企業交流プレゼン大会を実施した。

(2) 理事会

理事会設置法人として、次のとおり理事会を開催した。

回	開催日	議案
1	4 月 1 日（土）	①地域商社の設立について
2	4 月 7 日（金）	①地域商社の取締役報酬上限額について ②地域商社の監査役報酬額について
3	5 月 17 日（水）	①2016 年度事業報告及び決算の承認について ②2017 年度定時社員総会の招集の決定について ③会計規程の改正について ④株式会社 Karatsu Style の役員変更について
4	9 月 26 日（火）	（報告事項のみ）
5	12 月 22 日（金）	①株式会社 Karatsu Style の役員選任について
6	3 月 22 日（木）	①2018 年度事業計画について

		②2018 年度収支予算について ③規則規定の改正について ④株式会社 Karatsu Style の役員選任について ⑤株式会社 Karatsu Style の役員報酬上限額について
--	--	---

2 新市場開拓事業

(1) 海外クラスター組織提携事業

国際取引の基盤となる海外クラスターとの提携関係の拡大・深化を推進するため、合同商談会の開催や展示会への出展を行った。

<主な活動・動き>

- ・ 5月23日～25日 China Beauty EXPO@上海参加、Beauty Cluster Barcelona と Taiwan Beauty Valley の会員企業のブースを訪問し情報交換。アジアを中心とするコスメ関連企業 3,000 社が出展。
- ・ 5月30日～31日 フランス CV 来日商談会@CITE JAPAN2017
- ・ 9月22日 台湾 TBV@台南 台湾対日投資ビジネスセミナー開催
(参加者 100 名)
- ・ 10月31日～11月2日 COSMEX2017@タイ 出展 (出展企業 60 社)

(2) ビジネスマッチング事業

提携海外団体との連携を生かし、会員企業の展示会出展支援や商談機会を設けることで海外ビジネスを促進した。

<主な活動・動き>

- ・ 5月31日～6月2日 CITE JAPAN 出展
- ・ 7月26日 タイ王国 セミナー&商談会@唐津
(セミナー参加者 20 名、タイバイヤー2 社、参加企業 7 社)
- ・ 8月7日 台湾 TBV 第2回 B to B 商談会@唐津
(台湾企業 6 社、参加会員企業 12 社)
- ・ 9月20日 シンガポール セミナー&商談会@唐津

(セミナー参加者 20 名、シンガポール側 3 社、会員企業 10 社)

- ・ 10 月 18 日～19 日 COSMETIC360@パリ 出展 (RIT 事業)
(出展企業 200 社、来場者数 4,440 名、JCC 会員企業 4 社出展 (商談計 61 社))
- ・ 1 月 23 日 スペイン BCB 来日商談会&レセプション@千葉 (参加者 65 名)
- ・ 3 月 15 日～18 日 Cosmoprof Bologna 出展者支援

(3) 海外輸出促進事業

会員企業の海外市場への輸出支援及び販路開拓の促進を実施した。

<主な活動・動き>

【アジア輸出】

- ・ タイ向け：3 社商談、1 社成約
グレイスファーム(株) (白いキクラゲ)、(株)シェモア (美容雑貨)、カネダ(株) (グルコマンナン)
- ・ シンガポール向け：5 社、(株)Karatsu Style が仲介
(株)Karatsu Style (SHANTI SWITCHEL)、グレイスファーム(株) (白美の雫)、
YOKO・JAPAN(株) (GO FOR MEN)、(株)緑門 (茶実油、ジェルクリーム)、
Luna (洗顔石鹸)

【欧州輸出】

- ・ 輸出：1 社 (株)コスメディアラボラトリーズ)
- ・ レジストレーション：6 社 (完了 2 社、進行中 4 社)
- ・ JETRO の支援 (RIT 事業) 3 年目。累計で商談件数 245 件、成約 10 件+進行中 (見込み) 10 件=合計 20 件

(4) マッチングサイト事業

海外とのビジネスマッチングを加速させるためのインフラとなるマッチングサイトを 11 月 20 日から運用開始。会員間で事業・商品情報を相互検索できる仕組みを導入した。今後、コンテンツの充実、アクセス率アップの向上を図る。

(5) 海外企業コラボモデル事業

海外企業と JCC 会員企業がコラボした事業事例創出と方法論の抽出・確立のため、タイプ毎のモデル事業を実施するもの。

<主な活動・動き>

- ・AMI ASIA（AMI 社マツモト交商合弁事業）
- ・(株)Karatsu Style（韓国向け会員商品（ティーオイル、白美の雫）、加唐島椿オイル輸出支援）

3 産業創出事業

(1) サプライチェーン構築事業

国際的コスメティッククラスターの形成を目指し、本地域のサプライチェーンの構築を図るため、地域商社活動の支援及び地産原料加工活動への支援を実施した。

<主な活動・動き>

- ・株式会社 Karatsu Style の事業を軌道に乗せるべく、継続的な支援を実施した。
- ・3月22日 コスメ原料加工・製品製造施設の建屋が完成、4～9月設備導入、10～12月操業に向けた準備を行い、1月稼働予定。

(2) 商品開発・販売促進事業

地域資源活用事業の事例創出と方法論の抽出・確立のため、会員による地域資源を活用した新商品開発を支援した。

<主な活動・動き>

- ・5月10日 商品開発スタートアップ助成公募開始（～6月16日）
- ・6月28日 商品開発スタートアップ助成事業2件採択
本年度採択の2社については、引き続き支援中
- ・昨年度10社採択のうち5社が製品化した。

(3) セッション／セミナー事業

会員のビジネス支援のためにセッション（会員勉強会）やセミナー（公開講演会）を行った。

<主な活動・動き>

- ・6月5日 総会後の会員企業のプレゼン交流会（総会后）
- ・7月21日、24日 JCC 会員向けセッションを実施

- ・12月20日 フクオカベンチャーマーケット@天神に参加、JCC 枠として会員企業のプレゼンを実施
- ・3月23日、24日 移住促進セミナー@東京都千代田区（主催：ふるさと回帰支援センター、佐賀県移住支援室）で、唐津コスメ構想の紹介、コスメ起業家トークなど行った。

(4) 企業進出支援事業

美容健康関連産業の集積を図るため、関係行政機関と連携した企業誘致活動や現地視察対応、起業支援を実施した。

<主な活動・動き>

- ・6月13日 岩瀬コスファ(株)、原料物流倉庫（唐津市内）の竣工
- ・3月22日 唐津市原料加工・製品製造施設の竣工

(5) 産学連携促進事業

産学連携を専任で担当するコーディネーター1名を昨年に引き続き配置し、会員大学のシーズ紹介と研究者との交流機会提供のため、2回の産学交流セミナーを開催した。

なお、新たに佐賀女子短期大学、東京理科大学総合研究院界面科学研究部門、福岡工業大学、九州産業大学が新たに入会した。

- ・6月3日 第4回産学交流セミナー@東京（参加者120名）
- ・9月22日 佐賀女子短期大学が支援会員として入会
- ・10月17日 東京理科大学総合研究院界面科学研究部門が支援会員として入会
- ・12月21日 福岡工業大学が支援会員として入会
- ・3月1日 第5回産学交流セミナー@唐津（参加者74名）
- ・3月12日 九州産業大学が支援会員として入会

(6) 人材育成事業

化粧品を支える科学技術に関して総合的かつ多面的に学ぶ「化粧品科学へのいざない」セミナーを開催。10月5日から2月8日までの木曜日、全15回にわたり、最新科学、技術、文化、歴史、マーケティング等について分かりやすく解説を行った。

(7) 企業活動強化及び創業支援事業（佐賀県委託）

佐賀県からの業務委託により、原料・製品開発支援、地産素材のブランディング支援などを行い、入り口から出口までトータル的な支援を行う体制を構築した。

- ・コーディネーター2名による各種相談及びサポートを実施
- ・創業セミナー開催 1月13日～27日 全3回シリーズ
- ・化粧品づくりセミナー開催 1月24日～3月7日 全4回シリーズ

4 地域ブランド事業

(1) 原料ビジネス開発事業

コスメ原料開発室を活用し、地産素材からのコスメ原料素材を発掘・開発を実施した。

<主な活動・動き>

- ・コスメ原料開発室における素材収集とサンプル製造
(101品目・部位、360試料：3月末日現在)
- ・関係大学及び佐賀県工業技術センターと連携した機能性評価の実施
(41品目・部位、71試料、各2～8項目：3月末日現在)
- ・圃場整備 唐津（浜玉町平原）の耕作放棄地活用、ホーリーバジル等を栽培し蒸留水にして原料として供給
- ・種苗補助

(2) 地域モデル事業

地域資源活用事業の事例創出と方法論の抽出・確立のため、佐賀県産素材を原料として使用した会員による新商品開発を支援した。

- ・6月18日 アルビオン×佐賀大学 (株)アルビオン社イグニス サワーサニー アイテム全国発売（さがんルビーエキス配合商品）
- ・9月23日 (株)クレコス社 QUON 全国発売（ホーリーバジル、ミカン花他）
- ・2月26日 久光製薬(株) Lifecella さが美人シリーズ佐賀県内限定発売（茶葉、酒粕）

(3) 情報発信事業

当会活動の円滑化及び参画者・支援者拡大を図るため、ホームページやプレスリリースなどによる当会活動の周知の他、メディアタイアップ、展示会出展、イベント開催、パンフレット制作、ノベルティグッズ制作、広告掲載等を行った。

<主な活動・動き>

- ・ 5月6日～7日 Hana Marche2017 開催@唐津（参加者 830名）
- ・ 5月31日～6月2日 CITE JAPANに出展し、地産素材をPhyto Saganとして紹介（来場者約700名）
- ・ 9月12日 第3回ジャパンメイド・ビューティアワードにおいて、佐賀県産素材を使った会員企業3商品が受賞
- ・ 10月30日 佐賀さいこう応援団@東京 ブース参加（参加者約500名）
- ・ 1月31日～2月2日 健康産業商談展「健康博覧会2018」@東京 出展（参加者36,912名）
- ・ 2月7日 佐賀県主催PRレセプション@台湾 ブース出展（参加者約200名）
- ・ 3月23日～24日 コスメ企業・移住セミナー@東京 参加（唐津PR）（参加者約18名）
- ・ ホームページの運営（21,477セッション、15,443ユーザー、76,708PV/年）
- ・ メールマガジンの発行（25回、配信アドレス数750件）
- ・ プレスリリースの発出（地元向け11回、DreamNews5回、PR Times3回）
- ・ 広告掲載（週刊粧業、動物実験代替法学会、水科学と水資源に関する国際会議と展覧会）

(4) 地産原料開発事業（唐津市委託）

唐津市より「地産素材活用原料開発業務」を受託し、椿を始めとする地産の農林水産物を使用した化粧品及び健康食品の原料及び製品を開発するために、原料化・製品化に向けた素材の調査、分析評価、試作及び産地化に必要な取り組みを行うものであり、専門人材を新たに1名配置し、椿の原料化・製品化及び産地化に向けた取り組みと、化粧品、健康食品の原料となる素材の発掘、開発、ブランディングを行い製品化に向けた活動を実施した。また、唐津産の素材を活用した原料及び製品開発に必要なアドバイザーを1名配置し、農林水産物を活用し、有

力な原料となる素材を発掘、調査、研究し、専門的知見から、製品化に向けた取り組みを実施した。

<主な活動・動き>

- ・ 下草刈り枝打ちで実の収穫量を 1 t の増、搾油量を 180kg の増を見込んだが、実績としては、収穫量が 1 t の減という結果となった。
- ・ 搾油作業の中で、350kg の増量となる取り組みを行い、今後も積極的に収量増を図っていく。
- ・ 椿実 収穫量 1.7 t (前年比△1.0 t) 裏年にあたり前年比減
- ・ 椿オイル 収穫量 350kg (前年比△250kg) 残渣を再絞りして搾油量を確保

5 海外コスメ企業投資促進事業

(1) 海外コスメ企業投資促進事業 (唐津市委託)

唐津市より「海外コスメ企業誘致活動業務」を受託し、海外の化粧品関連企業の唐津市への進出へ向けた誘致活動を実施した。本業務は地方創生事業として2015年度に唐津市が実施した業務を継承するもので、唐津市及び海外へ専門人材を配置し、海外コスメ企業誘致のための調査、プロモーション、唐津市への進出・投資を希望または前向きに検討する企業1社以上について、誘致交渉を目的に招聘するものである。

当会では、本業務を遂行するために産業集積チーム内に外国語対応人材1名を新たに配置し、欧州担当1名、アジア担当1名の2名体制とした。また、昨年引き続き欧州側に「欧州デスク」として2名の現地エージェントを配置。必要に応じ新市場開拓(国際取引)担当コーディネーターの支援も受け事業を推進した。

<主な活動・動き>

【欧州】

以前からのリスト7社：フォロー継続中 (有力企業：欧州検査会社、化粧品コンサルティング会社)

新規アプローチ7社：継続可能性1社1団体

【アジア】

J E T R O、日台交流協会、T A I T R Aと連携

- ・台湾対日投資セミナーを実施、1社応募招聘継続中
- ・個別紹介により招致活動2社継続中

6 専門人材配置

(1) 専門人材配置

当会活動を効果的・効率的に進めるため、専門人材を配置して業務を遂行した。

2017年度は、プロジェクトマネージャー1名を新たに配置した。

<専門人材体制>

- ・プロジェクトマネージャー1名
- ・チーフコーディネーター2名（国際担当1名、地域資源担当1名）
- ・コーディネーター2名（国際担当1名、産学連携担当1名）
- ・コスメ原料開発室オペレーター1名
- ・スーパーバイザー3名

7 会員の状況

(1) 2016年度期末

正会員 173名

支援会員 19名

計 192名

(2) 2017年度3月31日時点

正会員 189名（継続 151名、新規入会 38名）

支援会員 24名（継続 19名、新規入会 5名）

計 213名（継続 170名、新規入会 43名）